

エコミュージアムとは、地域全体を一つの博物館としてみだて、地域資源の保存、復元、活用について地域住民が積極的に参加することで、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

エコミュージアムツアーって何？ (平成 15 年度から始めました)

博物館の特別展に相当するもので、自然、歴史・文化遺産等をガイドの案内で巡り、語り部や交流・体験などを通して地域を知るしくみです。城山町においては北部や南部、中央部など地域やテーマごとに様々な展示物を結びコースを作り紹介しています。今回は、9コース目にあたる昨年11月9日に開催したツアーについて紹介します。

○ 今回のコースは、「歩いて出会える昔と今 ー城山町久保沢・谷ヶ原～中沢を訪ねるー」



2008 年度
ワークショップ
メンバー募集と
開催計画

下見



前回決めたコースにそって、所要時間や危険な場所などを確認しながら、実際に歩いてみました。

テーマとコースの決定
地域内の自然・歴史遺産をピックアップし、
テーマとコースを決めていきます。



コース整備



川尻隧道跡の周辺など普段人が近づかず藪になっているところを、見学しやすく整えました。

ツアー当日
ツアーの詳細は裏面に。

反省会

今後もこのコースを利用できるように、みんなでまとめをしました。



ツアー当日 開催日：2008年11月9日

今回のテーマは地域の発展。城山町の発展に大きく係ってきた場所をめぐり、昔と今を感じられるコースでした。

今回のツアーは、相模原市立博物館との合同開催で、城山町地域外の方にも多数参加していただきました。



久保沢観音堂①

・江戸時代の初めころ、この辺りに市（いち）が開かれ、近隣の商業中心地でした。



川尻石器時代遺跡③

・縄文時代中期から後期(約5千年前～3千年前)等の人々の生活跡が見つかっています。



津久井発電所⑥

・戦中戦後の電力不足の時代には、県内の電力使用の約20%を供給していました。



城山ダム⑧

・昭和40年、急増する水需要への対応と洪水調整等を目的に建設されました。



ウラジロガン⑩

・太さ8.42m、高さ20m、推定樹齢600年、日本一の大きさ(太さ)です。



慈眼寺⑬

・安産祈願に御利益があり、現在でも「底ぬけ袋」が掲げられています。

参加者の声

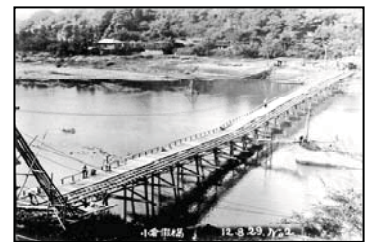
「初めて参加しました。資料が素晴らしくよくできていてわかりやすく大変勉強になりました。普段よく目にしたり歩いているところにも新しい発見ができました。遠方からの方とも話ができうれしい交流の時間も持てました。」

(佐藤照子さん談)



育てる会ワークショップだより

本年度行事のひとつ文化祭写真展が11月1～3日公民館で行われました。今年の特長は、テーマ「昔と今を結ぶ写真展」を定め、またエコミュージアム活動の紹介コーナーを設けたことです。見学者には大変好評でした。12月16日のワークショップでは、その結果について検討がなされ、次年度に備えました。写真は人気投票上位に入った1枚で、昭和12年ごろの小倉仮橋(木造橋)の風景です。



しろやま探訪 - 普門寺 観音堂 -

都畑地区から中沢へ抜けると右側に普門寺があり、その境内に観音堂があります。この観音堂は市内には数少ない密教本堂形式の仏堂で市の登録有形文化財に指定されています。建立時期は18世紀中頃と考えられています。また、県で指定している文化財の中でも最も古い鰐口が保存されていることでも知られています。



発行：相模原市教育委員会 城山教育課
企画・作成：城山町エコミュージアムを育てる会
問い合わせ：TEL：042-783-8080
FAX：042-782-1290

エコミュージアム活動は「城山町エコミュージアムを育てる会」が中心となって進めています。和気あいあいと楽しみながら行っています。

この通信は、相模原市ホームページでも見ることができます。
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>